

和歌山紀行

モウ テイイ
教育学部 交換留学生 中国

目に入るのは連綿と続く山々、見せてくれるのは雄大な青山である。風景の神工鬼斧の意を悟りながら、明鏡止水の静心で世間の諸多妙味を味わえる。「天下の絶景、和歌山にあり。」和歌山の名所を見るたびに、その自然の禅意に感嘆する。

早春に桜が咲く。紀三井寺を訪れ、風光無限嬌。薄紅の桜に若緑の葉、万物成長。野の花の香りは美味しい空気中に漂い、草が長く鳥が飛ぶ。時々草木はしとしとと降った小雨に潤され、暖かい風が吹いて来る。観音慈悲の霊場を目指す、結縁坂の石段を踏んで登ると、悟りを開かせるような気がする。澄み切った空の下で波がキラキラと輝き、海潮風浪が黒潮市場のダムに打ち寄せる。水玉が飛び散った時、たまには虹が現われる。黄昏の和歌の浦は一風変わった風情がある。青く澄んだ海と白い砂浜、暗闇に染めた水平線、漁火が点々とともっている。

真夏の熊野古道の森に、枝葉が鬱蒼と茂り、蛍の光が点々と光っている。岩にしみいる蟬の声、田舎で響き合う蛙の鳴き声。那智の滝、一瀉千里の勢いがある。青岸渡寺の頂上から見下ろせば、目に映るのは青く見える遠くの山、近くの蝶の舞い。大門坂の情緒に富んだ石畳の道、心に刻む面影。命輝く夏に、降り注ぐ陽、若葉光り、風薫る、「夫婦杉」の樹影が揺れて木漏れ日が見える。

秋たけなわ、照り紅葉が山装う。和大への坂道に落ち、冷ややかな秋雨の鬱陶しい音に打たられた夕紅葉、近くの公園で苔が生えるただの石。物寂しい景は一面にあり、風は落葉を巻き、空に回転させ、久滞し落さない。

師走の十二月、高野山の清泉は凍らず、寒い冬が凛冽である。風花は常に降り、地面に落ちればすぐに溶ける。偶には花卉雪が参拝に来る人々の髪を白く染め、真っ白な雪の華が舞い落ちて来る。山間の奥ノ院や金剛峯寺の屋根だけには、わずかな積雪が見られる。四季によって和歌山の景色も異なっており、その季節の趣も無窮である。

弥生の末に、朝日が昇った時、風にゆらぐ霧も澄んでおり、大年神社の桜が鮮やかに咲いていた。興に乗って旅に出て、天気が晴れると、家屋の隣の田圃が瞳に姿を映していた。小鳥のさえずりに耳を傾けると、その視聴の娯楽に、気持ちが飄々として心地良い。徒歩で歌を歌い、蒼空への懐かしさを抱きながら、彼方の空を行く飛行機雲が優美な弧線を描いて流れ出るのを眺めた。小川の畔に小憩し、紫陽花の綺麗な倒影に惚れていた。

夕陽が海の果てに消えてしまう前に、自転車に乗って微笑んだ。袖がそよ風に軽く撫でられ、微風が髪をなびかせた。夕暮れの夕焼け、坂道の細い影。境地は何と美しいことだろう。夜のとぼりが降りた。三日月が静かに空にかかっていた。

卯月に和歌山城のお祭り。人波の中で歩き躊躇い、胸に詰まった何かが騒いだ。遠く煌めいた薄暗い街燈、次第に耳に消えていた人々の笑い声、心の底から潮水のように溢れ出た悲しみ。星空を見上げ、世の中の諸行無常を嘆いた。久しぶりにブランコに乗ると、突然烈風が起き、全ては風に吹き散らされて行った。

自然に恵まれている和歌山は、人間味の雰囲気が高く、民俗芸能も百花繚乱である。和歌山に言及すれば、その魅力は歴史に満ち溢れる人文景観と自然風景の結び合わせにある。その特色と言える自然のにぎわいと世界遺産の静謐は、人と自然が調和した和歌山絵巻を見せてくれる。故に、時代によって、無数の文人墨客が和歌山に心を奪われ、貴重な詩絵絶唱を残した。「若の浦に潮満ち来れば潟をなみ 葦辺をさして 鶴鳴き渡る」山部赤人は寥々たる字で、紀州和歌山の魅力を語った。しかし、和歌山の絶景は百世不変である。何人かその壮観な海潮を見たのか、何人か同じような感嘆を嘆いたのか。恐らく私たちに答えを教えてくれるのは、滔々とした流水しかないのだ。



Wakayama Travels

Ting Wei Meng

Faculty of Education, Exchange Student / China

When I first arrived in Wakayama, I looked into the distance. What you see is the rolling green hills, and what you hear is the sound of gurgling streams. In the spring, cherry blossoms bloom, green grass sprouts, and the smell of fresh soil is brewing in the air. Everything recovers in the spring, and one can't help but be full of hope. The warm wind gently blows people's clothing corners, and the clear blue water under the clear sky glows with waves. The waves beat the rocks, and sometimes rainbows can be seen in the scattered water drops. The forest in the midsummer season is full of lush foliage. The cicada cries and the frog crow one after another. The mountains in the distance were green, and butterflies fluttered nearby. Sunlight can be seen in the gap between the branches. Maple leaves fluttered in autumn, rain fell on the leaves, and a dull sound was made. It often snows in winter and melts when it hits the ground. In the monasteries and courtyards, a little snow can be seen.

和歌山游记

孟廷威

教育学部 交换留学生 / 中国

入眼绵绵山峦，所见巍巍青山。品鬼斧神工，悟自然诸多妙处，皆在和歌山。早春时节，樱花繁盛。春至处，娇美无限。继而万物生长，野芳幽香，草长莺飞。暖风徐来，润雨悄降。碧空如洗，海潮涌动，波光粼粼。岸边叠浪击石，水珠散扬，时现彩虹。盛夏森林，枝叶茂盛，萤光点点。听得蝉音一两声，又闻稻田起蛙鸣。远山翠绿，蝴蝶慢舞。阳光倾泻，青叶新绿，清风醉人。于此生命灿烂时节，树影招摇间可见日光。至于枫叶遍野，层林尽染，自又别具风情。秋雨冷冽，雨音拍叶，入耳沉闷。顽石斑驳，青苔遍布。萧瑟之景满目，风卷落叶，于空回旋，久滞不落。寒冬凛冽，清泉不冰，凄神寒骨。薄雪常降，落地即溶。发丝沾白，入手便化。于山间庭院，幽邃古刹，方见微微积雪。四时景异，妙趣无穷。静心观之，稍明四季之禅意。